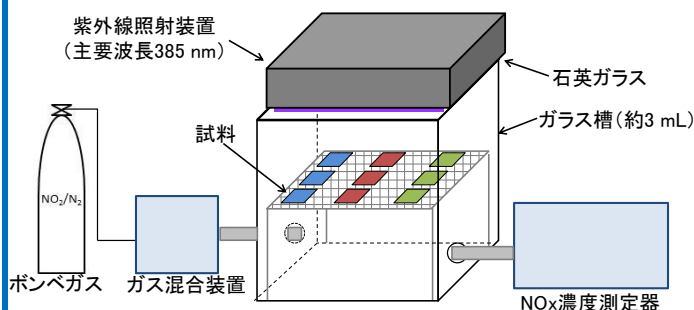


汚染ガスと光による複合試験

汚染ガスと紫外線を同時に暴露できる試験装置を試作し、汚染ガスと紫外線の複合作用が染色布に与える影響について検討しました。

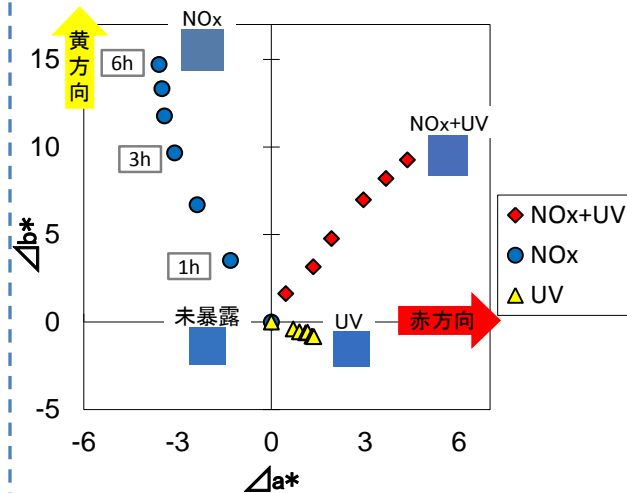
本技術の内容・特徴



複合試験装置概略図

試験条件

- 供給ガス：窒素酸化物
- ガス濃度：約 30 ppm 流量：約 1 L/min
- 暴露時間：6 時間（1 時間ごとに測定）
- 暴露試料：アセート布 (C. I. Disperse Blue 56)



暴露による色相の変化

試作の複合試験装置を用いた染色布の暴露試験により、異なる方向への色の変化が確認され染料や素材により汚染ガスと光の複合作用が影響を与えることが確認されました。

従来技術に比べての優位性

- ① 汚染ガスと紫外線を同時に暴露する方法で試験が可能
- ② 汚染ガスを任意の濃度で連続的に供給する方法で試験が可能

予想される効果・応用分野

- ① 繊維材料に対するクレーム品の再現試験への活用
- ② 繊維材料に限らず、紙、プラスチック、ゴム等の変色や劣化の評価に活用

提供できる支援方法

- 共同研究
- オーダーメイド試験
- オーダーメイド開発支援（技術活用）

知財関連の状況、文献・資料

文献資料

- [1] 岡田 他: 都産技研研究報告, No.8, p.150-151 (2013)
<http://www.iri-tokyo.jp/joho/kohoshi/houkoku/h25/documents/n2528.pdf>
- [2] 岡田 他: 都産技研研究報告, No.6, p.54-57 (2011)
<https://www.iri-tokyo.jp/joho/kohoshi/houkoku/h23/documents/r2314.pdf>
- [3] 岡田 他: 平成 27 年度都産技研研究成果発表会要旨集, p.137
http://www.iri-tokyo.jp/joho/seika/h27_youshi/documents/kankyo2_03.pdf

繊維・化学グループ<多摩テクノプラザ>
岡田 明子

Tel : 042-500-1291
E-mail : okada.akiko@iri-tokyo.jp